

神秘的な光親子で歓声

洪川港 ウミホタル観察会

海中で青白く光るウミホタルの観察会が18日夜、洪川港の棧橋で開かれ、市内の小学生親子24人が体長3

高の元理科実習職員

高橋京子さん(7)「水を別の容器に注ぐと、青白い光の点が浮かび上がり、「うわ、きれい」と歓声を上げた。市内小1年生の海にこんな生き物があるなんて知らなかった」と目を輝かせた。

ウミホタルは青森県から沖縄県までの太平洋や瀬戸内海に生息し、波の穏やかな砂地の海を好む。市内では洪川港が観察スポットとして知られる。

(近藤哲也)



青白く光るウミホタルに見入る児童たち